

四万十川と広見川流域におけるNBS※を学ぼう

※NBS：Nature Based Solution：自然活用の水辺再生プロジェクト

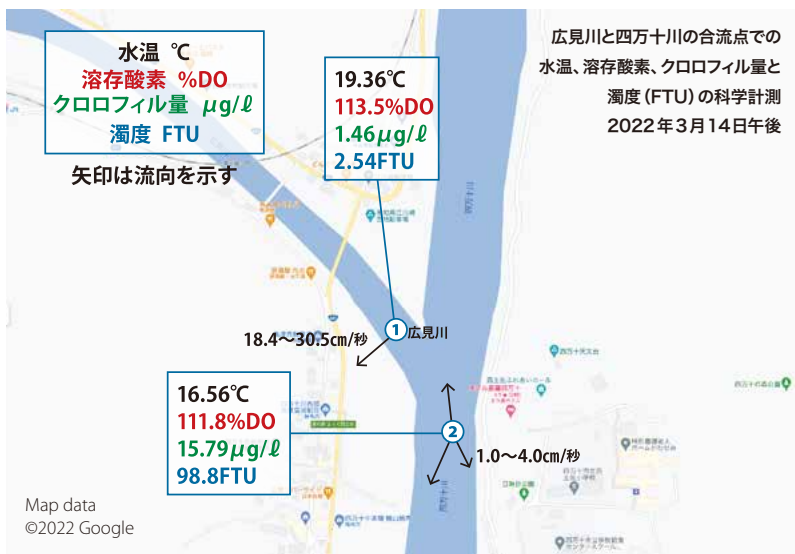
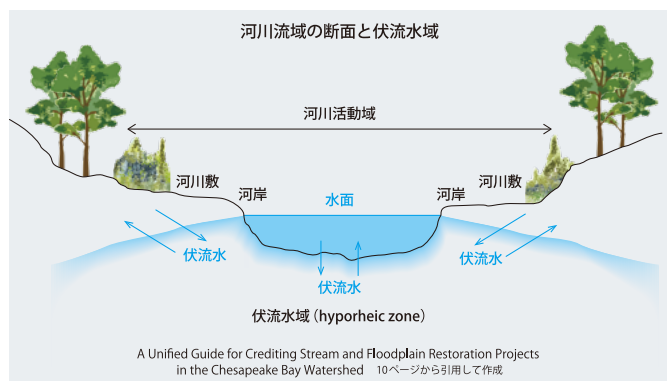
2026年1月28日(水) 10:00-12:00

四万十市役所西土佐総合支所 会議室(四万十市西土佐江川崎2445-2)



水と土壌について、生態系と土地利用を改善し活用するNBS (Nature Based Solution)。

四万十川流域をモデルケースとしてNBSを日本にも導入して普及・発展させることは、将来の子供たちに良い自然と社会を残すためにとても大切です。そのため、このたび四万十市役所西土佐総合支所で「四万十川流域におけるNBSを学ぼう」を開催します。



講演者



小松正之氏 一般社団法人生態系総合研究所 代表理事
米エール大学経営学修士・東京大学農学博士。ワシントン条約、国連食糧農業機関などの国際会議に数多く出席し、日本の漁業・捕鯨業の権利を守るために活躍。現在は米スミニアン環境研究所との連携も含め、自然活用の水辺再生を大船渡湾、東京湾、四万十川で広く調査・研究を実施中。



横山勝英氏 東京都立大学教授
東京工業大学大学院で博士号(工学)を取得し、建設省土木研究所、東京都立大学講師、准教授を経て2017年から現職。専門は環境水理学。東日本大震災の後、被災地にて汽水域再生を実践し、グリーンインフラ大賞を受賞。



佐竹孝太氏 (株)佐竹ファーム 専務取締役
七里小学校、四万十町立窪川中学校、高知県立窪川高等学校陸上自衛隊(2年間)
20歳から父と共に生薬栽培 現在に至る 44歳。



キャロライン・ホール氏 豪マルーン農場代表
オーストラリア、マルーン研究所、代表取締役社長 (CEO)
農業及び環境分野で20年以上の経験を有する。



ジェームズ・ストローン氏 豪大使館参事官
在日オーストラリア大使館、農務担当参事官
2025年1月オーストラリア大使館に着任し、農林水産業における日豪関係の推進に取り組んでいる。

プログラム

9:30	開場
10:00	開演
	主催者挨拶 小松正之 一般社団法人生態系総合研究所 代表理事
10:05	基調講演「NBSとは何か 四万十川シンポジウムの結果とNBSモデル事業の開始」 小松正之 一般社団法人生態系総合研究所 代表理事
10:15	特別講演「佐竹ファームのNBS湿地帯造成の科学と技術」 横山勝英 東京都立大学教授
10:25	特別講演「NBSの実践 現状と将来展望」 佐竹孝太 (株)佐竹ファーム専務
10:35	マルーン農場のNBSの取り組み キャロライン・ホール氏
11:00	質疑応答と意見交換 小松正之、キャロライン・ホール、ジェームズ・ストローン、 横山勝英、佐竹孝太、金谷光人 四万十川漁業協同組合連合会会長
12:00	閉会